

呼吸器内科 スタッフ募集（常勤医・専攻医・フェロー募集）について

都道府県がん診療連携拠点病院である兵庫県立がんセンターの呼吸器内科では、胸部悪性疾患（肺がんを主体に胸腺腫瘍など縦隔腫瘍、胸膜悪性中皮腫など胸膜腫瘍を含む）を中心に、常に最新の知見をベースにした診断・治療を行っています。特に、肺癌の薬物療法は、2000年代前半の分子標的薬の開発から、最近の免疫チェックポイント阻害剤に至るまで、悪性腫瘍に対する薬物療法のブレイクスルーとなるようなものが数多く出てきた分野です。

当科では、実臨床として患者さんそれぞれに最適な治療を提案するとともに、企業治験や臨床試験などにも積極的に参加し、患者さんへの選択肢をひろげるとともに、新規抗癌剤の使い方や位置づけなどについても、医師それぞれが常に考えながら診療しています。当科の特色としては、症例の治療方針などを検討するカンファレンスを定期的に行うため、診療科内でしっかりディスカッションをして治療方針を決定していきます。他科も含めた多くの医師とのディスカッションなどから学べる機会も多い環境で、外科医、放射線診断科・治療科の視点での考え方を学びつつ、チーム医療での方針決定をしていきます。学術的には、学会発表・論文作成も積極的に行っております。

また、気管支鏡検査も年間400件程度の症例数があり、一例一例カンファレンスで事前検討の上、正確・確実な気管支鏡検査を行うことを心がけており、手技に関しても豊富な経験ができます。呼吸器内視鏡学会の認定施設でもあり、専門医の取得も可能です。

医師として目指す医師像はそれぞれかと思われませんが、当科では肺癌診療の臨床経験を積むことも、専門的な探究も、また、短期に集中した研修にも（期間はフレキシブルに対応できますので、問い合わせください）、いずれにも対応できる環境を整えています。ご興味のある方は下記から是非ご連絡ください。

お問い合わせ先：

医師・専攻医・フェロー募集のページ下にある「お問い合わせはこちら」のバナーをクリックし、[お問い合わせフォーム](#)からご連絡下さい。

（ホームページ右上の「お問い合わせ」のバナーからも[お問い合わせフォーム](#)にリンクされています）